新京日日新聞
夕刊
定價　一箇月金一圓三十錢
郵稅　一箇月金十八錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所　新京日日新聞社
電話二二〇〇・三三〇五番
發行人　十河桑吉
編輯人　松本男
印刷人　谷吾二郎

治法撤廢には國內司法制度の充實が肝要
皆川司法次官昨夜入京

滿洲國司法制度視察の皆川司法次官は四日午後七時五十分の「ハト」で着京したが奉主嶺まで出迎へた國通記者に左の如く語つた

日露戰爭當時軍の國際法顧問として渡滿した當時に比し現在の滿洲國は名實共に漸次文明國の形態を備へるに至つたことに驚いた、ロシアの南下政策を完全に喰ひ止めて今日を築いた日本人の偉さを沁々と感ぜざるを得ぬ、娛樂機關なくして一日も生存し得ぬ白色人種にはこんな殺風景な滿洲では日本人の樣な根强い働は出來んよ

奉天では一應滿洲國の生きた司法制度を視察したが司直の任に當る人々は何れも熱意を以て其職務に專念して居るので賴母しい何しろ滿洲國は戰火漸く治つたのみで未だ司法制度の準備時代だから治外法權撤廢論が種々論議されるが早急には撤廢に左袒し得ぬ、外交政策上から觀れば一日も早く撤廢する方がよいが空理空論に流れた法律を前提として撤廢すれば却つて禍を殘すことになる、わしが滿洲國に入つて司法制度の改善を爲せばよいと云ふ噂があるが今の所そんな考をもつて居ない今度の視察によつて滿洲國の司法制度の現狀を知つて居れば東京に居ても互に連絡をとつて充分滿洲國の爲めに働き得ると思ふ、日本の司法官の辯護士を滿洲國へ入れよと騷ぐが今後滿洲國の司法制度を確立した上その收容力を見ねば話にならぬ

尙ほ次官は滿洲國司法部側多數の出迎へを受けヤマトホテルに入つた、滯京は三日間でその間溥儀執政を始め日滿主要官廳に來京の挨拶をなす筈である

鐵道敷設法廢止は急ぐ要はない
―三土鐵相語る―

〔東京四日發國通〕三土鐵相が鐵道敷設法廢止の決意を語つたことが政友會の反對を受け成行き注視されてゐるが、右につき鐵相は左の如く語る

敷設法の存在は別に必要と思はぬが、これが廢止には愼重考慮を要し相當機關に諮り黨の意向も尊重する要あり同法廢止は急ぐ必要はない故此の議會へ提出する積りはない

これは政友會の强硬態度に心境の變化を來した爲めと觀測されてゐる

民政黨の米穀應急對策

〔東京四日發國通〕民政黨は米穀應急對策につき昨日午後二時本部に產業部會と農村部會聯合會を開き左の決議をなした

一、五日の幹部會提出の後黨議として政府に迫ること

一、政府は米穀統制法施行期日を十月一日へ繰上げること

尙低利資金融通を容易にし投賣りを防止せしめ米穀貯藏の奬勵を圖る

八月中の綿糸生產高

〔東京四日發國通〕紡績聯合會調查八月中の綿糸生產高は三十六萬二千九百五十八梱也

四分利新公債買付申込
一億二三千萬圓に達す

〔東京四日發國通〕四分利新公債買付申込は引續き殺到し一億二三千萬圓に達し、日銀では審查の結果四日中に六千萬圓の受渡を爲した受渡先は貯蓄銀行及中央地方の二三流銀行で大銀行は二十四回大藏省券償還金を四分利に乘替へる程度である

浦潮入港の外國船に一噸四錢の一律課稅
ソ聯の日本壓迫と見らる

〔ハルピン四日發國通〕露字新聞所報に依れば浦潮に入港する外國船舶に對し一律に一噸に就き四錢の稅金を課することとなつた、この結果歐亞聯絡船として浦潮敦賀を航行して居る天草丸は浦潮入港毎に三八〇圓の稅金を課せられることとなる譯で右はソ聯側の日本人壓迫の前提と觀られて居る

洮昂線の貨物輸送復舊す

〔奉天四日發國通〕水害のため一時取扱ひを中止してゐた洮昂線の貨物輸送及び旅客車小荷物運送の制限は水害個所の復舊により昨四日より共に平常通りの取扱ひに復した

前月より四千梱增加、問題の二十手は千八百五十一梱半減產、右は印棉不買のため紡績會社で棉貨延しをするためである

八月中の對外貿易

〔東京四日發國通〕大藏省發表八月中の對外貿易槪要左の如し（單位千圓）

輸出	一八二七五一
輸入	一三一〇八八
出超	五二六六三

本月に於ける對外貿易は右の如く前年同期に比し輸出は三割四分四厘を、輸入は七割八分七厘をそれぞれ增加、輸出入合計に於いては四割九分九厘の增加となつた

佛資本家ハルピンで語る

〔ハルピン四日發國通〕最近組織された日佛對滿投資團のフランス資本家ドリヴヰエ氏は東京より新京經由來哈したが、氏は語る

余今回の來哈は滿洲國の資源開發のためこれが實施調查視察のためである、最近東京に於て組織された日佛對滿投資團は引續き內容具備のため銳意考慮中である、藤村男も余と一緒に來哈する筈であつたが、健康を害して居るので已むなく旅行を中止した次第である、日佛對滿投資團の資本が十億とか百億とか世上種々沙汰されてゐるが孰れも眞相をうがつたものでない、フランス資本家は滿洲問題につき多大の關心を持つてゐる、余は近く再度東京に赴き同地より巴里に向ふ豫定である

日本海橫斷連帶運輸實施
滿洲丸十日から

〔敦賀四日發國通〕鐵道省と北日本汽船の日滿連絡船滿洲丸の連帶運輸は十月一日より實施の豫定であつたが、去る一日から本營業開始の吉會線を經由する旅貨物の漸增に鑑み本月十日から實施することとなつた

未曾有の低金利下にある―
株式はどうなる？

日本銀行が急激な金融緩慢、急速な金利低下を調整するために所謂オープンマーケツト、オペレーシヨンをとつてゐたのに從來の此方針を敢然放棄して七月一日預金の利下げを行ひ革命的低金利政策の徹底を明するに及んで、單純に金利關係によつて動く公社債は一齊に暴騰し、公債の如きは全く天井知らずの有樣であつた

而して同じ證券市場に於ても物的證券である株式はその騰勢が遲々としてゐるのは如何なる關係からであらうか、その最大理由は株式に關する限り金利一本では買へないことである

インフレの進行が通貨制度の基礎觀念を變革させるまでになれば、金類證券の上昇は停止し、株式の狂騰を見るであらうが、事態はそこまで熟してゐないのである

むしろ對米爲替の急反騰、說の經濟界の不安、政界の不透明等々の事情に制せられて公債の暴騰をよそに久しく保合を續けて來たのである、加ふるに大株は昨年末より今春にわたる高値で、五百萬株近い新株を引取つてゐるので、新規出動の餘力がないばかりでなく、高値に來るごとにその繫ぎ物が現はれるのである、從つて株價は先行き高値が殘つてゐるとしても、一應此の繫ぎ物を消化した後でなければ、派手な上げ足は見られないといふのが至當であらう

□

然らば此の未曾有の低金利下に於ける今後の株式價は如何に變化してゆくであらうかそれを決定する前に一應過去に於ける實際を檢討して見る必要がある、顧みれば大衆が鈴なりに買附いたところで去る一月のマーケツト、オペレーシヨンがあり、これを動機として大小買力のふるひ落しとなつて既に半年を經過してゐる、その間には國際聯盟脫退のあふりを喰つて二月中旬には大底を入れ、三月には米國の金融パニツクによつて二番底をいれ、その後ヂリヂリ盛り返したとは言へ、何等華々しい活躍を示さないといふのが最近に於ける情勢である

併しながら過去の例に徵すれば金融市場は地味なものとなつてゐる關係上、利下げの效果は今後ボツボツ出て來るものと見られぬこともないであらう、その根據とするところは既に預金利下げ發表以來纖維株類は漸く賑つて來たのを見ると共に、紡績、漁業其の他若干の輸出本位產業を主とする事業會社を除けば、その業績は何れも好轉しつつあるところに存する、故に金利安と業績好轉の二大材料が株價昇騰の素因となるのはこれからであらう

東京株式取引所に於ける最近一ケ年の株式平均利廻は大分四厘の高値にある今後に增配のたのしみがあるものの多いだけに、現狀を基礎とする此の利廻水標は必ずしも氣一杯とは見られない、個々の株式の値頃觀は、茲には出來ないとしても大勢的に見てまだ上値の殘つてゐることは否定し難い、而も現在はまだヂリ高步調とは云ひながら、投機熱の白熱化するほどの通騰振りを見せてゐる譯ではないから、この邊で大きな反動が來るとは考へられない

從つて株價の今後は外來の惡材料と鬪ひつつ、堅實株から徐々に利廻訂正にへるところまでよなるであらうか

珠玉を碎く（百九）
吉井勇（髙畠秀治畫）
無縫版上映上演

搖めく影（五）

「さうか。昨夜會つたのか」

英一は微に嫉妬めいた色をその瞳に漂はせながら、

「露子はほんとに怒つてゐるやうかね」

と、大貫は薄笑ひをしながら首を振つて、

「いゝや、別段怒つてゐるやうな樣子も見せなかつたが……。さうだな。どつちかといへば、まだ多少未練があるやうだね」

「さうか……。しかし……」

英一は何かいひかけるやうにして、また考へ直したやうに口を噤んだ。

もう廊下には、案內人の女給が椅本を持つて入口のところの椅子に腰をかけてゐるだけで、まるで人影が見られなかつた。默つてゐると入口のドアを越して、何か遠い舞臺の方でいつてゐる臺詞が、遠い世界から聞えて來る言葉のやうに聞いて來た。

英一はそれを聽くと、誘はれたやうに入口のドアの方に近付いて行つて、眞ん中のところに嵌めたガラス窓の覆を、ちよつと指の先で摘み上げながら內部を覗いた。觀客席が暗くなつてゐるのが、舞臺ばかり明るくなつてゐて、そこからは何だか眼鏡でも見てゐるやうに、妙にもの懷しい感じがした。

英一が默つてぢつと何時までも舞臺の方を覗き込んでゐるので、大貫もドアの傍に近付いて來て聲をかけた。

「何うだい。面白さうかね」

「うゝん、何だか知らないが舞臺だけは綺麗だよ」

英一はやつぱりガラス窓のところへ額を押し付けたまゝ返事をした。

「さうか、まあ、一幕位見て來たまへ。僕はこれからちよつと樂屋へいつて來る……また後で會はう」

さういつて大貫は二三步步きかけたが、ちよつと氣が付いたやうに振り返つて、

「何うだい。何か露子さんにお話はないかね」

と、英一は詰めてドアの傍から少し離れて、

「あゝ、別にないね」

「しかし、何とか言傳位いつてやつたつていゝぢやないか」

「いや、ほんとにないんだ」

「さうか。それぢやあ露子さんには何うだね」

「うんこれもないね」

「はゝゝゝ。ひどくさつぱりしたもんだな」

大貫はさういつてから、やゝ冷めいた言葉で、

「しかし何だよ。もう露子さう踊つてもゐられなくなるよ」

「何うして……」

「うんそりやまあ今に判る……それぢやあほんとにまた後で會はう」

大貫はもうさつきの機嫌は、何處かへ行つてしまつたやうに、冷たい一瞥を投げかけてから、さつさと廊下傳ひに樂屋の方へ行つてしまつた。

英一は暫らくぢつと大貫の後姿を見送つてゐたが、やがてそれがまふと、急に芝居が見たくなつた。突き當りのドアの向ふに消えてしまつたやうに入口のドアに片手をかけた。と、丁度その時車寄のところで自動車の止まる音がしたので、ふと思ひ直したやうに、そこのところに立ち止まつたまゝ、待ち受けるやうな眼差を車寄の方へ注いでゐた。

がそこにはかなり長い間誰の姿も現はれなかつたので英一は多分迎ひの自動車か何かだらうと思つて內部へ入らうとしたが丁度その時何か笑ひ乍ら二人の若い女が入口の石段を登つて來るのを見た。

「おや……」

英一は思はずぎくりとした樣に目を瞠つて、其女の一人の方にたちろいたやうな眼眸を射付けた。

建艦競爭時代

英國海軍も亦 大海軍擴張計畫
巡洋艦、驅逐艦をドシく建造 人員一萬人增加

〔東京四日發國通〕四日外務省へ達せるロンドン、デリー、テレグラフ紙の報道によれば、英國海軍省は

一、優秀巡洋艦二十九隻建造
一、毎年驅逐艦十五隻乃至十八隻を建造
一、艦隊從屬航空軍機の擴充
一、人員一萬人增加
一、艦隊燃料、練習費用の增加

等の擴張案を次年度豫算として提出する旨發表したと、右に關し同國の有名な海軍記者バイウオーター氏は九月一日附紙上に於て英國の立場を擁護し、ロンドン條約の規定によれば日、英、米三國軍艦保有量は一九三六年米國の現在保有量を基礎として決定するものであり、英國今回の計畫は一九三七、八年以前には實現せざるものなるをもつて條約違反とはならぬ、且又英國の現在保有する巡洋艦の大部分は今後二ケ年内で老朽艦となるものであるから之が補充は當然である

ブラジルでも軍艦建造計畫
日本及歐米へ入札させる

〔東京四日發國通〕四日ブラジル駐劄林大使より外務省へ達したる報告に依れば今回ブラジル政府は軍艦建造計畫をたて之を日本及歐米、南亞各國の造艦所をして入札せしむることに決定したと

右入札期日は十二月十五日並びに州先大公使館で一齊に行ふが、入札希望者は十一月十四日迄に夫々ブラジル大公使館へ申込むべしと

尚代金の一部はブラジルの產物を以て充當するを條件として居り外務省では三菱、川崎等造船業者の參加を希望してゐる

奉天省内の電信電話網 着々完成に近づく

〔奉天四日發國通〕滿洲交通部に於ては治安の恢復は各重要都市間電信電話網完備にありとし、完成を急いで居るが

奉天省内には今日迄に殆んど全部の完成を見、殘る鄭家屯双山、小梨樹間の電話は八月一日以來架設中であつたが、鄭、双間は八月卅日完成九月一日より鄭家屯小梨樹間も近日中に完成を見る筈である

關東軍に對する重要問題 近く首腦部の決裁を仰ぐ

〔東京四日發國通〕陸軍では四日午前九時より部内聯合會議を開催、山岡軍務局長以下出席し關東軍に對する重要問題を協議したが決定を見なかつた餘り長く決定を見ねば昭和九年度の滿洲事變費決定に支障を來すので最高首腦部の決裁を仰ぐ筈である

齋藤首相 凱旋將軍歡迎午餐會を催す

〔東京四日發國通〕齋藤首相は昨日正午官邸に松木、鈴木中將以下の凱旋將軍を主賓とし閑院總長宮殿下の台臨を仰ぎ歡迎午餐會を催した

齋藤首相が 府縣廢合斷行の意志表示
に近い難問題と觀て居る

〔東京五日發國通〕齋藤首相は行政整理の重要條項として府縣廢合を考慮する意向ある旨明かにし、斯る問題は政黨内閣で爲し得ぬ處で現内閣の使命の一つとし斷行すべきものと語り、俄然各方面の注意をひくに至つたが、之に對し當の内務省内では山本内相以下首腦部何れも本問題の實際的困難を豫想して餘り氣乘りせず、理想としては懸案解決を希望するも、地方の實情を考慮すれば殆んど實行不可能

北鐵第五次會商 近く再開
ク代表四日退院 パ新代表三日入京

〔東京四日發國通〕北鐵交涉ソ聯代表クヅネツオフ氏は四日聖路加病院を退院し、新代表パルイシユコフ氏も三日入京し第五次會商も數日中に再開される筈である

七月迄の思想轉向者 七百四十八名
司法省行刑局の統計

〔東京四日發國通〕司法省行刑局では共產黨員の思想轉向者の七月までの統計が出來たので、昨四日小山法相に報告したが合計七百四十八名でなほ增加の模樣である、轉向内容は河上博士のやうな主義は捨てぬが行動せぬもの六十五名、佐野學の如く理論的轉向三十二名、理論的にも行動的にも轉向せるもの五十八名、宗教的に轉向せるもの六十二名、其他轉向三百三十一名、其轉向動機は家庭愛によるもの二百十七名、拘禁による反省百四十一名である

英米の航空勢力
南支に於る對立注視さる

〔東京五日發國通〕確實なる筋に達した情報に依れば元孫文の顧問だつた英人コーヘン氏は去る二、三月頃から香港に滯在蔣介石の命を受けて南京政府と廣東政府陳濟棠との間の連絡をやつて居るが傍々米國系汎太平洋航空會社の南支航空進出を企圖してゐるに對抗して英國系極東航空會社の勢力進出に就き、廣東政府空軍參謀部に奔走して居るが英、米兩國の南支に於る航空進出は注目されて居る

廬山會議は 愈よ六日から開催

〔南京四日發國通〕蔣介石、汪精衛、宋子文を中心とする廬山重要會議は愈々六日より略式の下に在、六日間の豫定で舉行されることとなつた、會議の中心議題は棉麥借款處分、聯盟との技術的合作問題及び對外交方針、財政問題、河北問題、馮玉祥問題等である

多門中將病氣全快後 各地戰蹟歷訪

〔仙台特〕前第二師團長多門二郎中將は病氣全快を待つて多門師團がハルピン、チチハル、吉林等滿洲事變勃發以來の各地戰蹟を歷訪し曾つては自己の隷下に屬したる同師團將兵の戰沒者の靈を慰めるべく渡滿することとなつたが一說には滿洲國軍政部の最高幹部として招聘されるとも言はれてゐる

滿洲國の金本位制 時期尚早の感がある
宮田埋財局長昨日奉天着

〔奉天四日發國通〕滿洲國幣制改革問題に關し折衝にあたる富田大藏省理財局長は京城に於て鮮銀側の金融事情を聽取し昨夜五龍背溫泉に一泊、旅の疲れを休めて四日午後時十分三名の事務官を帶同安奉線列車で來奉したが驛頭にて左の如く語つた

滿洲國の通貨を圓金本位に改めるといふことは日本内地でも相當論議されてゐる樣たが、大藏省としては今のところ現行維持で圓金本位制に改める具體的の腹案は持つてゐない、相當古い歷史を持つ滿洲國の銀本位制を金本位制に移すと云ふことは可成り重大問題であるから金本位制實施を希望する滿洲國側の意見も聽取した、又軍部、鮮銀並びに正金銀側の意向も糺して見なければ本問題に對する大藏省の意見は發表出來ない自分の今回の旅行はその意味から各方面の事情を聽取するためで大藏省としての態度を決定するのは自分の歸京後で、それ迄は何とも云へぬ、孰れ將來においては金本位制を實施することとなるうが現在では未だ時期尚早の感があり一部には反對論者もあるので新京に赴いた上、先着の青木爲替整理課長と充分研究して見たいと思ふ、爲替管理に就いては、これも相當困難が伴ふことであり、之が實施は仲々容易なことではないと思ふ

尚一行は本日當地大和ホテルに一泊各關係方面の意向を聽取し明日午後三時十五分發「ハト」で新京へ向ふ豫定

京津排日運動の裏面に 西南派の策動か

〔東京四日發國通〕確實なる筋への報道では京津地方の排日貨運動の裏面に西南派策動するものと推察する、天津排日貨團体の天津庶民救國會は西南派機關新聞民風社で會合したと、國民黨の廣東派が背後より操つてるとの相當根據ある噂あり王德林、馬占山などを利用し新抗日團体を作る策動をしてゐる

何應欽の招電で 于學忠歸津

〔天津四日發國通〕上海在中の河北省主席于學忠は何應欽の招電に依り本日午前九時隨員を伴ひ專用列車にて北上、途中韓復榘と商協を重ね歸津する筈である

り劉桂堂軍は内訌を起し察哈爾方面に退却中である

宋、黃郛の親日策に 大体諒解を與ふ
過日の宋黃會見で

〔東京四日發國通〕某所着報に依れば、日支關係を決定すべき宋子文、黃郛の會見は三十一日と一日の兩日に行はれたが宋子文は黃郛の採つてゐる親日策に大体諒解を與へた模樣で其結果一兩日中に開催すべき廬山會議に蔣介石の要望なき限り黃郛は出席せず北上するとも見られてゐる

支那の博學 柯紹文氏逝去す

〔東京四日發國通〕昨本の文學博士で世界的にその名を知られてゐる支那の碩學柯紹文氏は去る七月三十一日高齡をもつて死去せる旨外務省へ報告された

辯護士團來京

滿洲國司法機關其他視察の爲に東京辯護士會から選ばれた一行八名は本五日午前八時新京着、直ちに國都ホテルに投宿した

方振武吉鴻昌兩軍 中央の改編命令に應ぜず

〔奉天四日發國通〕方振武、吉鴻昌兩軍は宋哲元の改編に應ぜず方振武軍は獨石口附近に、吉鴻昌軍は綏遠又は外蒙古方面に移駐せんとしつゝある

四億二千萬圓は 絕對最少限度
豫算折衝を前に軍當局語る

〔東京五日發國通〕一兩日中に愈々陸軍兩省に折衝を開始する明年度陸軍豫算に關し陸軍當局は左の通り語つた

第一回の陸軍省請に提出された額は六億を突破したが財政の現況に鑑み要求を極力切詰め、新規要求も既定計畫の遂行に必要な最少限度以外全部切棄し、國軍現下の情勢より觀て最重要な資材整備費の如きも約半額に切りつけ、漸く四億二千圓に喰ひ止めたもので、此數字は帝國の環境が急轉せぬ限り絕對減じ得ぬ

印度議會に提出された 對印棉不買建議案

〔東京五日發國通〕在シムラの三宅總領事より外務省に達せる報によれば、印度議會で去る八月三十一日印棉不買の件に關し左の如き建議案が上程されたと、即日本綿布に對し關税が增徵された結果日本の印棉不買を招來せるに鑑み印度總督に對し棉花栽培業者を保護し印度棉の消費增加の目的を以て印度に輸入する外國棉に對し關税を增加せしむるか又は輸入禁止に關する法律の制定方を建議したもので ある

然し乍ら一般に右建議案は全く注意をひかず同議會においける質問に對し商務長官ボアー氏は現在日印交涉開會を眼前に控えて居るをもつて日本の印棉問題に對しては何等言及するを欲せずと答へ同時に本年七月一日から八月十日に至る間に於てカラチ及びボンベイから日本に向け輸出された棉花は昨年同期に比し著るしく增加せる事實を指摘したと、尚印度議會は九月十八、

その日く

世は擧げて建艦競爭時代、攻めるための軍法、防ぐための護りいづれか先

□

友部氏の辭任で關東總警務局長後任難、時局多端なる折柄速かに決定を希望す

□

寛城子西北方に匪賊現れ遊動警察隊員犠牲者を出づ、きのふ靈を慰めてけふまた鬼籍に入るなり

□

止宿先主人の預金を引出し逃走した男（日本人）あり、片や主家奥さんのガマ口を失敬したボーイ（滿人）あり白鼠好一對

九日頃閉會となる模樣でシムラ會議は二十二日より開催される筈である

人事往來

▲中島中佐（滿洲測量部長）四日午前九時發奉天へ
▲佐々木少佐（師團駐劄部副官）四日午後三時二十五分發哈市へ
▲佐藤中佐（哈爾賓停車場司令官）四日午後三時二十五分發哈市へ
▲皆川次官（司法次官）四日午後七時五十分着來京
▲杉浦高等法院長　同上
▲島田檢察官長　同上
▲田中農林院長　同上
▲張燕卿氏（實部總長）四日午後十時發奉天へ
▲塚本博士（新京病院長）同上
▲第二回佳木斯移民團員二十五名　四日午後九時十五分發哈市へ

團体

▲岐阜縣教育團二十二名八時四十分着哈市より
▲香川縣教育團十一名午後三時半着四時發奉天へ
▲熱河省商工團二十二名午後三時着
▲宮城縣青年團十一名午後一時分ハルビン着

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊　紐育銀塊　米貨爲替　米英爲替　米日爲替　米支爲替　アナゴンダ株　スチール株

棉花

▲米棉　現物　本日休日

▲上海標金　▲上海日本向　▲上海倫敦向　▲上海紐育向　▲大連金鈔票　▲大連上海向　▲大連台向　▲阪神日米爲替　▲新京錢鈔現物

各地市場

▲大阪株式　▲大連株式　▲大阪棉花　▲大阪期米　▲仁川期米　▲橫濱生絲　▲阪神日英爲替　▲神戸豆粕　▲大連特產　▲哈爾賓特產

新京市況

寬城子西北方に強力な匪賊が襲ふ
游動警察隊と交戰數時間で 我方も多大の損害

四日午後四時廿分ごろ寬城子西北方約一里半、四間房附近に突如百名の強力なる匪賊が現はれ民家に押入つて掠奪を始め同地自警團と交戰中との情報に接した寬城子游動警察隊では裝甲自動車を先頭に約五十名の隊員が二台のトラックに分乘して急行し、なほ小合隆警察隊も應援に出動したが賊は高粱畑內に塹壕を築き極めて強硬に抵抗したゝめ同警察隊も苦戰をつゞけ交戰數時間にして同夜十時過ぎ漸く擊退した、この戰鬪のため同隊警士小野田武雄氏は遂に戰死を遂げ同山田政、鈴木高正の兩氏はいづれも重態でほかに六名の重輕傷を出し被害者は直ちに滿天病院に收容された

塹壕を築いて 頗ぶる強硬に抵抗
苦戰した游動警察隊員の談

四間房附近の匪賊討伐に出動した寬城子游動警察隊員は交戰數時間にして漸くこれを擊退して引揚げたが同隊員は左の如く語る

始め約三十名の匪賊が附近民家で掠奪を始め四間房の自警團と交戰中だとのことだつたが事實は相當多人數であり、而かも高粱畑內に塹壕を築いて待ち構へてゐるといふ始末で、隨分わが方も苦戰をつゞけたものです、小野寺警士の戰死を始め多數損害を受けたことは誠に殘念でなりません

故小野田警士告別式

四間房附近に匪賊襲來し遂に名譽の戰死を遂げた寬城子游動警察隊警士小野田武雄氏の告別式は五日午後二時から同隊內で執行され新京時局後援會その他から花環一對を寄贈した

ボーイの惡事
廣本洋行のこと

市內曙町三丁目廣本洋行主妻廣本サカエさんは四日午後零時頃自宅炊事場に二百五十六圓入のハンドバックを置き約一時間二階で談話中何者かに現金を拔取られてゐるのを發見直に新京署司法係に屆出たので同係大谷內刑事は使用人ボーイ張玉金（一八）の仕わざと目星を付け四日午後十時頃本署に連行嚴重取調を行つた結果內靴敷皮下に現金を隱匿してゐるのを發見した

久邇宮朝融王妃 女王殿下御分娩
母子共御健在

〔東京五日發國通〕久邇宮朝融王妃知子殿下には四日午後四時半御分娩女王殿下御誕生遊ばされたが母子共に御健全の旨宮內省より發表あつた

ハルビン豪商の息 尙ほ手懸りなし

〔ハルビン四日發國通〕曩に路人ギャング團に拉致されたハルビンの豪商カスペの息天才ピアニスト、セミヨンは其後杳として消息なく安否氣づかはれて居り、ハルビン、フランス領事館は十萬フランの懸賞附でセミヨンの所在を探査中である

電話で安心させ 一萬九千圓を詐欺拂出し逃走
一杯喰つた正隆銀行 犯人の目星はつく
飛島組松村氏の御難

市內朝日通八十三番地飛島組松村康平氏は豫てタンスにかくまつてゐる自己名義正隆銀行の預金一萬九千二百圓中一萬五千圓を何者かに引出されて居るのを四日午後八時頃發見吃愕した、同氏は直に新京署司法係へ屆出ると共に正隆銀行に調査した結果四日午後二時半頃犯人は松村氏の名を騙り電話にて只今五千圓の請負入札の保證金が入用だから使の者に拂渡して戴きたいとの話であつた爲行員は眞實松村氏と信じ何の不審をも抱かず一萬[illegible]千圓を[illegible]にも拘らず便宜拂戾した事實が判明したが、引出した通帳印鑑を又元の如く收めて居る點から犯人は內部の者と想像されてゐる

＝矢先＝ 豫て新京宅に止宿中の松井省三（二八）＝假名＝が四日より行方不明となつて居るのでてつきり眞犯人とにらみ係官は行方搜索中であるが今明日中には逮捕を見る模樣である

內地の出來ごと

千萬長者の息子 謎の失踪

〔大阪發〕大阪千萬長者の家庭に二ケ月余も秘められた謎として注目さる怪事件がある大阪市東區南久寶町一の四文房具商多額納稅者原田虎次郎長男武次郎氏（三八）は去る二十八日現金約六萬圓を拐帶行方を晦し二ケ月に亘る今日に至るもなほ行方判明せず音沙汰なく同家では事件の外部に漏れるを極度に恐れ警察へも正式捜査願もせず極秘裡に搜査中で家人は右家出の原因に付ては全く心當りなく謎の失踪と見てゐる、原田家は資産十萬圓と言はれ同區屈指の資産家で武次郎氏は妻ミヨ子さん（三三）との間に子供二人あり家庭は至極圓滿であつた、去る二十三日同店員よりこの事實を探知した當局では內偵の結果東京方面よりの思想團体の女に誘惑されその儘同團に監禁せられてゐるものと見られてゐる

靜岡縣佐成湖 メタン瓦斯を發生 魚族悉く斃死

〔靜岡發〕靜岡縣濱名郡富塚村佐成湖一千町歩は去る三十日以來湖水濁り、同湖水の魚族は悉く斃死し之を食したものは中毒を起すといふ騷ぎに濱松測候所が此水を分析試驗した結果同湖水の水底が泥沼化し、メタン瓦斯を發生するものと判明したが、一方佐成湖に隣して同じ運命にある濱名湖八千町歩十二ケ村五千余名の漁業家は濱名湖も同樣な運命に陷るかは死活問題であるとして目下鋭意考究中である

尼ケ崎の養育院 全燒

二日午前一時三十分尼ケ崎市內小田原常光寺東洋紡績會社青年會館、與來隅の養育院より發火二階三階を嘗めつくし木材三階建（建坪九百坪）の中央廊のみを殘し全燒同四時鎭火した、人畜には被害なし

松井文太郎氏

〔福井發〕民政黨前代議士松井文太郎氏は二日午前福井市の自邸で逝去した

電報料金改正 大連に反對運動起る
會社から改正經緯を詳細聲明

〔大連四日發國通〕滿洲電信電話會社の設立に伴ふ電報料金改正に就て大連商工會議所をはじめ一部より電報料金の値上であるとして猛然反對運動が起つてゐるがこれに對して電信會社では料金改正に就て概要左の如き聲明書を發表した

△料金制度統一の必要

從來滿洲に於ける電報料金制度は國際電報料金については姑く措き滿洲內及日滿間に於ける私報の通常電報料金は多岐多樣にして煩雜極まりないものであつた、之を具體的に言へば同じ奉天でありながら附屬地內と附屬地外と料金を異にしてゐるのであつて、かくの如きは一主體の經營地帶內に於ける取扱として不合理極まるものであることは識者を待たずして知り得る、況んや本會社は滿洲に於ける電氣通信事業の統制をその主目的とするものであつて行政權の所在の如何に拘らず事業を統合し從來の不便不合理を匡正し以て滿洲內及日滿間の通信連絡を圓滑ならしめんとするに於ておや

△語數制採用の理由

元來和文電報と歐文電報とは全然その構成を異にし居る關係上その料金率を同一ならしむるためには和文電報を語數制として歐文電報に一致せしめるか又は之と反對に歐文電報を字數計算として和文電報と一致せしめるかその何れかの方法に依るの外はない然るに歐文電報はその本質上字數をもつて計算すべきでなく又國際規則による取扱と一致せしむる外はないのであるが和文電報は料金單位を何字に區切るも差支へないのであるから和文電報を歐文電報に一致せしめて各電報料金率を同一にする外はないのである、字數の區切りには前記の通り種々の方法を考へられるが、多年間の統計による歐文電報の一語平均字數が七字であることから、和文電報も七字をもつて一語とするを權衡上適當と認め以て和文、歐文の料金を一致せしめることにしたのであつて、現在上海、青島等宛和文電報語數計算方法も全く之と同樣である

△料金額決定の根據

料金額統一に付ては大体之を舊關東廳側制度又は滿洲國制度の何れかの一方に統一するか或は兩者の中間に於て之を定むるかの方法を考へ得るのであるが、滿洲國側料金は關東廳料金に比し概して高率であつた關係上之に統一すれば舊關東廳側が著しき値上となるを免れないし、反對に關東廳側料金に統一すれば舊滿洲國側は多大の値下となる、此際理由のない値上は勿論不可であるが、又會社の開業に際しまだ前途の業績に關して充分の見極めもつかない時に於て減收となるべき料金値下も濫りには行はれない、尙事業の會社移管に付ては從來官業時代に於て行はれて居なかつた遞信省との相互計算の如き或は日滿連絡通信線の保守費の分擔の如き新規支出を要するものも相當額に達する見込であるから特に然りである、結局會社として舊關東廳側及滿洲國側双方料金の中間に於て適當なる料金額を按排決定する外ないのであるが、其の結果として當然値上げをしなければならない舊關東廳側に付て出來る限り値上げの部分を生ぜしめない方針に依り利用の五十二％を占むる十五字乃至二十字前後の大衆通信に對しては値上げの影響を及ぼさないことに重點を置いて私報料金を滿洲內一語十錢、日滿間十三錢に定めたのである

△結言

以上要約するに

一、和文電報を語數制とし一語料金を定めたことは料金統一上避くるを得ざるものなること

二、從來關東廳側の取扱範圍は猫額大の關東州と帶狀を成せる滿洲附屬地內に過ぎなかつたものが會社設立と共に滿洲全土に擴張せられ同一電信系としての事業地域が從來に比し著しく廣汎となつたこと

三、取扱の大多數を占むる十五字以內の短交電報には何等影響を及ぼさず又十五字以上に於ても三十字位迄は値上の影響として大ならず之等の電報が總數の七十二％を占むる實狀であるから値上となる電報は極く少數なること

四、舊關東廳管內に於て一部値上のものを生じた反面に於て舊滿洲國管內は概して値下になつたこと

五、長文電報の利用多き商工業者は滿洲國側地域との電報發受も多く自然料金値下の利益をも享け得べきこと

六、日滿間料金を本料金以下とするときは內地朝鮮間料金よりも低額となる部分を生じ權衡を失すること

七、日本內地宛料金は一語十三錢なるも遞信省との間に分收計算を行ふ關係上會社の收得額は料金の半額六錢五厘に過ぎざること

等の事情に依り會社に於て今回採用した料金制度は誠に已むを得ないものであつて、滿洲國側地域に於ける料金値下の如きは、日滿經濟ブロック結成の機運濃厚を加へつゝある、此際相當之に寄與する所あるべきを信ずるものである、尙上海、青島等宛和文電報は本會社の和文電報と同樣七字一語の計算であり且つ通過線路の短長又は取扱手數等に於て日滿間電報と何等軒輊なきに拘らず、上海宛は一語五十四錢、青島宛は同七十一錢なるに對比し日滿間一語十三錢は決して高率でないことを充分に御諒承願ひたい

劍聖高野範士
關東廳劍道教師となる

〔大連四日發國通〕劍聖高野茂義範士は去る二十三日附を以て關東廳劍道教師を囑託されだ

滿洲國文化史（六）
奉天圖書館長　衞藤利夫

康熙一代の間に清朝の漢人統御は確乎不動なものとなつた、その後を受けて雍正の短い治世がありますが、これは康熙の繼續か乃至次の時代なる乾隆の序曲と見てよろしい。雍正の次の乾隆時代、これも治世は六十年の久しきに亘つて居るが父祖以來培養して來た滿朝の文化は爰に滿朝の狀態に達して正に萬朶燎亂、見るも眩しいばかりの綺羅美やかな盛觀を呈したので御座います。先先代の康熙を哲人帝王といふべくんば乾隆は帝王詩人といふべきでありませう。

位に即いたのは二十五歲、それから八年經つた乾隆八年の秋に帝は皇太后を奉じ皇后をつれて遙々と北京からこの奉天に巡幸して[illegible]申しました、東陵、北陵に詣で城內宮殿の崇政殿に於て故老群臣の賀を受け朝鮮の使を迎へ「威を海內に加へて故郷に歸つた」漢の高祖が大風歌を誦したやうな思ひで「世盛銘歌」と題する十章より成る詩を作つて、奉天で盛んな大饗宴をやり、自ら立つて舞ふやうなことを致したものです、その時帝は三十三歲、油の乘り切つた男盛りです、そして才學と詩藻は有り餘る程だし身は父祖の餘澤を辱しめない大清帝國といふすばらしい廣大な領土の主であるし、今を盛りの幸福の絕頂にあつて、一點の片翳の心を暗くするものもない得意を以て、その渾身の學殖と感激とを爆發的に此處に傾倒して作り上げた力作が卽ちこの「盛京賦」といふ長詩一編であります、その詩を見ますと無學な吾々にはとしても讀めはしない、出典のややこしい字劃の多い文字ばかりの膽劍でありまして漢字にはかうまで六ケ敷しい字が澤山あるものかと先づ度膽を拔かれる而し乾隆はそれだけで足りなかつたのか、これを滿洲字で書き、漢滿二樣に印刷して更に驚くべきことには漢文の篆體、それぞれ出典のある古法に據る三十二樣に、又滿文の篆體、同じく三十二樣に印刻をさせたのであります、滿篆は三十二通りもあつたが滿字のそれは態々作つたものもあるさうです、漢滿の双方を合せますと篆體六十四體別にその原本となつた漢滿の平體の印刻が二樣にある譯ですから都合六十六體に一編の詩を印刻致したことになります、この仕事は乾隆十三年に完成致しまして、その一體で一冊をなして居ります、恐らく之は世界に於ける最も贅澤な書籍印刷の一例であるかと思はれます、一寸類のない話しに違ひありませんけれども、それだけなら當時のことではありますし、東洋だけのことで、西歐に喧傳さるることはなかつた答であつたらうと思はれますが、それをその頃北京に來て居て乾隆の知遇を蒙つて居た佛蘭西人であるゼスイツトの神父アミヨーといふ學者のお坊さんがその六ケ敷しい長編の詩を佛蘭西の散文譯にして、恐しく丁寧周到、殆ど至れり盡せりの註釋つきで、一七七〇年に巴里で刊行致しました、これは後でスタウントンといふ英國の支那學者がいつて居る通り「最も完全に西洋に移植せられた東洋の詩編」で御座いましてヴォルテールが讀んだといふのはつまりこれだつたのです、この本は今でも巴里の古本屋のカタローグに氣をつけて居ると出物があるもので、一、二年前には神田の古本屋の書目にも一寸見かけたことがあります、巴里に於ける本書の刊年は一七七〇年ですから、その頃はもうヴォルテールは晩年、それから七年ばかりしか生きてゐなかつたのですが、當時一代の大詩人としまして、羅馬法皇やフレデリック大王などを自分の崇拜者として持つて居たヴォルテールが平素歎心する支那に於て「盛京賦」とそれに合冊した「茶賦」の作者である、若い帝王詩人を發見したことがどんなに驚喜に値ひすることであつたかは、想像するに餘りあります、彼は直ちに詩の形による手紙で諸々と乾隆に書き寄せて、支那の詩作の六ケ敷しいこと、其形式上の條件などの數へを請ずるところがありました

佛海相レーグ氏

〔パリー二日發〕佛國海軍大臣レーグ氏は豫て病氣臥床中のところ本日遂に逝去した

…遞信局側と內地本省並びに大藏省との間に意見の違ひし滕井遞信局長の辭職にまで發展

新會社入り 退職者待遇問題解決
電信會社も新入社員を優遇

〔大連四日發國通〕滿洲電信會社設立に伴ひ遞信局より會社入りする退職者の待遇問題するのではないかと見られてゐるが遞信局側の主張通り退職者に對しては特別賞與三ケ月分、勤續賞與は月俸の半額に勤續年限を剩したものを支給する事となり目下整理中で今月中には支給する筈である、尙は電信會社に於ても遞信局よりの新入社員優遇に就て考慮中であつたが一律に年總收入の五分に相當する額を增俸する事となり四日新入社員に傳達した

あめりか丸 時化で避難中

大阪商船株式會社定期船四日大連入港、六日出帆豫定のあめりか丸は往航門司發後時化の爲め避難中にして未だ入港の見込み立たぬため本航海に對する連絡乘船券の賣發は何分の通知あるまで中止する由

秋の夜長に 中間驛の慰問
社會係が各地巡回

滿鐵新京地方事務所社會係では中間驛慰問のため高橋係員が十六ミリを携帶して左記日程で映畫會を催すはず

五日午後七時陶家屯△六日同時孟家屯△七日同時大屯△八日同時范家屯

なほ同係では每月蓄音機の巡回慰問をつゞけてゐるが今月も第二十六號レコードを携帶して近日開始の豫定である、また本社から派遣の中間驛慰問秋季慰安車は十月九日大屯につくことになつてゐる

東京地方も暴風

〔東京五日發國通〕東京地方も房州に發生せる低氣壓の影響で四日夕刻より烈風吹き荒び深川方面浸水家屋八百戶に達した

映畫王ダグ君 十月中旬渡滿來哈
興安嶺を背景に映畫撮影

〔ハルビン四日發國通〕アメリカの名優お馴染のダグラス・フエヤバンクス君が新興滿洲國をこの秋十月の中頃に訪れると云ふ話……ダグ君は數名の技師俳優を同道して滿洲國のパリーハルビンを訪れ興安嶺を背景にロケイションをやり、歸國後は滿洲國の實態をアメリカに照介する計劃だと云ふ、ダグ君來るといふのでハルビンのファンはヤンヤ、ヤンヤの大騷ぎ

鹿兒島縣出水郡に 大海嘯が襲來
各戶浸水電話も一時不通

〔鹿兒島五日發國通〕四日正午頃出水郡阿久根村地方に暴風襲來し、折柄の潮時のことさて山の如き海嘯押寄せ海岸線一帶浸水家屋續出、堤防三ケ所も潰れ電話も一時不通となつた

ラジオ 六日（水）

- 奉天前 一一、五〇 / 一二、二〇 講演「滿洲鐵道の現在及將來」鐵路總局長 宇佐美寬爾
- 奉天後 四、〇〇 相場 商業通信社 レコード
- 新京後 四、三〇 演藝
- 同後 五、〇〇 講演「協和會の使命」協和會委員 王大忠
- 同後 五、三〇 ニュース 滿洲語
- 東京後 六、〇〇 ニュース 東京中央放送局編輯
- 新京後 六、二〇 語學講座（滿洲語）講師 高宮盛逸
- 同 六、四〇 （日本語）講座 講師 植松介枝
- 同後 七、〇〇 ニュース 英語
- 同後 七、一〇 ニュース 露西亞語
- 同後 七、二〇 ニュース 朝鮮語
- 同後 七、三〇 ニュース 氣象通報、放送局編輯及プログラム豫告
- 新京後 八、〇〇 演藝
- 東京後 八、三〇 時報
- 同後 八、三一 ニュース 東京中央放送局編輯

けふの銀相場

- 鈔票對金票 一三三〇
- 現大洋對金票 一〇六四〇
- 國幣對金票 一〇六〇三
- 大洋對鈔票 四四七五

慶安異聞 艶魔地獄

(競上演 映畫化)

玉水三郎

(畫) 長谷川小信

(二十九) 男の本性(一)

お菊は心に副はぬ事ながら、其日から奥勤めを承諾した。

恰も好し、青山主膳は晩酌を傾け始めやうとする時、相川忠太夫と、腰元の梅野が其居室へ入つて、

「申上げます。手前梅野と共に、種々申聞かせましたる處、お菊に於きましても、殿様折角の有難い思召し、左様ならば不躾ながらお側仕へを致すとの事にござります」

「直ぐ召連れませうか」

両人のいふ處を聞いて、主膳の喜びは一方でない。

「オ、両人とも大儀であつた。それにて満足直様菊をこれへ……」

両人は引下つて今度はお菊を居室へ差出した。

「オ、菊か。何故そちは遠慮致すか。譏にも程があるではないか。大罪人の娘であつても、何もそちに罪はない。たゞ掟の表奴奉公人となつたるもの。第一其方の父は[illegible]であつたならば、立派に[illegible]として、予の千五百石よりは、以上の身分になつてゐたであらう。何の恥づる事があらうか。今日よりは予が身近く仕へよ、悪しきやうには致さぬ」

お菊は平伏した儘。

「恐れ入つたるお言葉にございます。叛逆人の娘にして不束かなる私。とても殿様お気には召しますまいが、お身近の御用何なりと仰せ附け下さいますやう」

「オ、満足々々。さ、さ、もそつと近く寄つて酌を致せよ」

「それは餘りに恐れ多い事にございます」

側へ引寄せやうとしても、お菊は膳部の向ふに坐つて了ふ。

「コレ／＼其處では話が遠い、予の左へ參れよ」

「イエこれにて御容赦願ひ上げまする」

慾には初心な主膳、荒武者ながらうろたへた。最初から手荒く取附けたりして恐れさせて了つては成らぬ。だが身近く仕へると言ふからは、もう大丈夫自分の物とホクホクしながら、

「ア、今宵は其方の酌にて思はず多く過ごすわい……時に菊、そちは町方にあつたる時、寺小屋の師匠を致したとの事。定めし手蹟も見事であらうの」

「イエ／＼何う仕りまして。唯父が劍術道場の方が忙しいと申すので、ほんの寺小屋の方へ手傳ひに參つたまでの事でございます」

「イヤさうでない。用人の話では寺小屋の師匠並に縫ひの業も教へたと申すではないか」

「イエ／＼針仕事は妹が、之もほんの子供に教へましたまでの事」

「左様に控へ目にのみ申す事はない。遠慮なく打解けて話を致せ。身共も一時町奉行を勤めた事故、町方の話は好んで聞くのぢや」

「ハイ左様で……」

「何うぢや菊、盃を取らさう。一献過ごすが可い」

「私は一向無調法でございまして、御酒は一滴も頂戴出來ませぬ」

「ナニ飲まぬとか、然らば是より飲めるやうに、予が師匠となつて教授して遣さう」

「アレ頂けませんと申しますに……御免を……」

「コリヤ菊、予がさす盃を受けぬと申すか」

「イエ左様ではございませんが、私は全く無調法で……」

「エヽツ、何を申す。予が酌して取らす、是非一献過ごせ」

遂に片手を取つて引寄せた、そして酒臭い息を吹つかけつゝ、

「今宵よりして、予がねまの伽を申附ける」

此一語にお菊は吃驚、忽ち座を立つて飛鳥の如く次の室へ逃げ出した。

九月六日 舊七月十七日 水曜 乙亥 大安 平 畢宿

●一白の人 心を一つにして業務に協力すれば平穏なり 庚と辛と癸が吉

●二黒の人 念願届かざれど後日を樂しみに怠る可らず 乙と丙と壬が吉

●三碧の人 意見の衝突を避け我意を貫かざれば吉なり 丙と壬と癸が吉

●四緑の人 大事を思ひ立たざれば過ちなし病難は注意 辰と巳と庚が吉

●五黄の人 苦心の甲斐なく思ふ半ばにも至らぬ衰日 卯と壬と癸が吉

●六白の人 旱天に雨を得たる如し氣分開けて喜を増す 乙と丙と丁が吉

●七赤の人 人和を失はぬ様努むれば追々と吉に向ふ日 乙と丁と癸が吉

●八白の人 心浮立ち輕忽となれば後悔ある日愼重肝要 甲と丁と癸が吉

●九紫の人 巧言に誘はれて人の餌食となるべき危險日 乙と戊と丑が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

定價　一部 一錢　一ヶ月 金八十錢　三ヶ月 金二圓十五錢
郵稅 一ヶ月 二十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社　電話 三〇〇番・三五二二番
發行人 十河忠男　編輯人 松本勇　印刷人 谷啓二郎

我第二次海軍補充計畫 愈よ必要に迫らる

米海軍長官の聲明は遂ひに世界建艦競爭へ！

【東京五日發國通】米國の尨大なる建艦計畫に刺戟されて英國も對抗上當に時報の如く補助艦艇の充實を實行することとなつた模樣である、即ち米國の海軍長官スワンソン氏が去る一日、產業復興法の名の下に大建艦を實施するに當りアメリカは世界一の海軍となるうと聲明したのであつたが、結果は図らずも太平洋の彼岸の大海軍國有勢力パリチーの英國を刺戟し遂に今回の建艦競爭を誘致することとなつたもので、英國の建艦は引いては佛、伊あたりにも影響する結果となる

は明白で、今や第二次ワシントン會議を二年後に控へ世界は條約決定量內外の差こそあれ一九二〇年即ち第一次ワシントン會議直前の建艦競爭を實現せんとしてゐる、而して英、米の如き豐富なる財力を有する國々が斯くも無謀なる計畫を敢てする以上我海軍も今回の第二次補充計畫の必要は益々理由づけられたとなしてゐる、我海軍當局ではこれが成行に對し深甚な注意を拂つてゐる、一九三五年の軍縮會議は益々以て重要性と共に艱難を加へて來た

次期軍縮準備の爲

外、陸、海三省間に準備委員會構成

【東京五日發國通】一九三五年の第二次華府軍縮會議に對する我準備工作に就ては既に外務、陸、海軍三省間で準備委員會の構成を了し今週中に第一回の會合を開くことになつてゐるが外務當局は之が中心となつて諸般の準備を進めることの必要を認め、明年度豫算の實行を待たず近く外務省關係者のみよりなる軍縮會議委員會を省內に設けることに決定した、委員の顏觸は目下詮衡中である

伯軍艦の代金

珈琲とマンガンで

日本は註文に應ずるや否や不明

【東京五日發國通】ブラジル政府の軍艦註文に關し造船聯合會は同會から派遣してゐる某氏より入つたの電報で、來る二十日總會を開き態度を決定することに決した、二日頃の情報によれば註文隻數は巡洋艦三隻、驅逐艦九隻、潛水艦及び運送船十八隻で、價格は一億八千百萬圓で代金は珈琲及びマンガンで支拂ひたいと云ふものだつた、造船聯合會は船價改善事業や軍需品の註文で多忙の際註文に應ずるや否や考慮されてゐる

ランプソン氏の後任

カドーガン氏 年末赴任

【ロンドン三日發國通】英外務省大使館參事官カドーガン氏は三日ランプソン氏の後任として任命され本年末赴任するが聯盟通として知られるライヒマン氏の渡支と共に注目されてゐる

黑龍江省の警察廳長

臧氏近く赴任

元奉天瀋陽公安局長臧啓芳氏は去る本年五月免官後、四平街滿洲側市街に在住中の處、孫黑龍江省長の斡旋で同省警察廳長として就任することとなつたので近く赴任に決したと

一ヶ年賜暇の形式で

ライヒマン渡支

【東京五日發國通】パリーにある伊藤述史氏より外務省への着電によれば、對支技術援助委員ライヒマン氏は一ヶ年賜暇の形式により來る十日ナポリ發支那に赴く

米價瓶落し

米價統制案の實施に期待

【東京四日發國通】豐作豫想の米價は日下瓶落しに下落しをり、今や農村の重大問題として政府でも非常な關心を拂ひ、十一月一日施行する米穀統制案に期待をかけてゐるが同法による基準米價二十三圓程度とされる樣なるに對し政友會では二十五圓以上を維持せよと主張してゐる

ハルビン特產業者

北鮮三港を視察

【ハルビン五日發國通】ハルビン特產業者三井（三菱と筆

滿洲國の衛生に就て（五）

關東軍々醫部長　伊藤實三

次は虫類に就て概略申述べます、滿洲で蠅の多いのは有名でありますが五月蠅からないのも亦有名であります、此蠅が傳染病の媒介を爲すことは既に御承知のことと存じますが滿洲人に限らず支那人は生物を食へないと云ふ習慣がありまして何でも煮たり燒いたりしたのでないと食べないことは傳染病豫防上効果あることは論を俟ちませんが

て丈高き雜草の茂れる處、又は濕地には夏七月から九月下旬にかけて蚊の發生が多く海拉爾であへ隨分大きなアノフエーレスと稱するマラリアを傳播さす蚊が居ります、北滿地方には虻や蚋が多く居ります今年北滿黑河地方へ行つた人達は台灣で用ふる樣な防蚊覆面を取寄せて使用して居る狀態であります、從つて牛や馬などには一層苦痛を與へて居ります、其の他蝨は少ない樣ですが古い家には蝎が居り全滿到る所南京虫が多く居ります、蛇は少くありまして偶に蝮が居るとのことであります、其他下層階級には虱を持たないものはありません、夏は蚤が澤山居ります、之等から生ずる種々の疾病も亦多々ある次第であります

×

次は傳染病に就て簡單に申上げます

常に種々の傳染病が散發性に或は流行性にあることは殊に數家族雜居して居る滿洲人中

には尤ものことと思ひます、痘瘡、痲疹、猩紅熱等は常に見受けられ雨期の後には腸管傳染病である赤痢、パラチブス、腸チブス等があり、昨年はコレラの爲に數千人が死んだことも有名であります、幸にして本年は今日迄其の流行を見ないのは同慶とする處であります、本年夏の始め關東軍、滿洲國側、滿鐵及關東廳とコレラ豫防の連合會を作つて其侵入防遏の手段を研究し各々分擔を定めて其侵入を待つて居りますが一向這入つて來ない樣です、其他恐るべきペストが流行したことも屢々あります

其他滿洲國內の疾病として其明しませんがマーバ所謂滿洲チフスや不明熱病がありまして目下之が調査研究をして居る次第であります、何と云ふても結核は隨分多くある樣でありまして之れも前申しました家屋內に起居する關係上發生すると思はれます、其他熱河や吉林の山地で海より遠い地方には甲狀腺腫と云ふ喉の下の方が腫れる病氣がありまして特に婦人に多いのであります又花柳病は蒙古人間に非常に多い樣であります、又阿片を吸ふて習慣性となつた患者が澤山あります

×

以上で大體滿鐵沿線以外の滿洲國內の衛生のお話を致しましたが人が死でも屆出でするでなし醫師も殆ど都會以外には居らず、滿洲國內部に如何な疾病があるのか其邊の處もさつぱりわかりません、從て調査はして居ても此れ以上詳しく申上げられません

×

最後に一言申上げたいのは或る米國人が日本人は馬來人の血液を多分に持つ故溫帶から亞熱帶ならいざ知らず、滿蒙の嚴寒地方への移民は全然不可能だと言つて居りますが、私は北緯二〇度より五〇度に亘れる國土に住ふ日本人位此の國の氣候風土に慣れることの容易な國民は無いと信ずるのであります、傳染病の如きは文化の度を進め衛生施設を完備致しますれば之が防遏は決して難儀ではありません、其の他私共は前述せる滿洲人の此の風土に順應しつつある衣食住を詳細に調査研究して如何にせば之を日本人に適用し得るやの成案を得んと努めて居ります

既に斯界の權威者を網羅しました保健調査會又は移民調査會も設置せられ鋭意調査を進めつつある次第であります（終り）

偶語

貧者小言

五疊の間代を五十圓も取つてその筋からきつい大目玉を喰つた男がある、今頃の新京にはありそうなことではあるが、事情を知らぬ內地の人でも聞いたら膽玉をぶつ潰すであらう、こんなのは例外として新來者なら吾々でさへ驚くやうな暴利方は今の新京では決して稀らしくない、誠に情ないことである

○

新京の物價は高い、そこにはまた正當な理由もあり一概に非難するのも當らないけれど一本買つて三十錢のビールが隣の飲食店では五十錢又は五十五錢で客に賣られてゐる、カフエーなら兎もかく「うさん屋」においてもそうである、目に見え透いたビール一本において然り、他は押して知るべしである

○

同じ六疊の間貸しが三十圓だからといつて堂々たる新築の床間付き、何から何まで便利に出來たのもあれば古い支那家屋をそのまま改造、いや改惡して、雨露を凌ぐといひたいがそれも出來ないやうなのもある、當り前ならこれで這入り手があるかどうか疑はしい、がこれも新京ならばこそ……

○

住宅は稀有の拂底だ、人口はぐんぐん殖えてゆく、尤も新築も漸次出來てはゆくけれども追つかない、木造家屋こそうんと殖えたがどうせ借家も時米に入れず止むなく立退くのほかあるまい、誠に氣の毒な話である、そこで家主はより家賃の値上さでも來るんだらうが、一体この先はどうなつてゆくのか僕はしみじみ考へさせられるのである（南の子）

北鐵が貨物運賃引下げを斷行

需給調節と產業開發に

【ハルビン五日發國通】北鐵では需要供給の調節、地方產業開發のため木材、米、麻袋、小麻等の運賃の引下げの外更に白尺竿頭一步を進めて

一、ハルビン又はその以西へ輸送される伊林炭の運賃

一、鶴立崗炭のチチハル迄の運賃

一、沿海州炭及滿洲里經由チチハル迄のチエレムホー炭の運賃

一、石油、ベンヂン、ガソリン等の運賃（現行タリフを半減）

一、或種の品目に對しては約七割を値下げする

等の運賃の値下げを斷行すべく目下審議中であるが、更に右の外甜菜、ビール、葡萄酒製原造料及び馬鈴薯の糟粕等は豆粕其他比較的高價な食料の代品として輸送の增加が見込まれるので此區間運賃も引下げるべく考慮中である、また陶器類に對する滿鐵との直通連絡及區間運賃の引下げ問題も考慮されてゐるが之が實現の曉は輸送貨物の增加と相俟つて市價も自然下落し購買力も增加するものと觀られてゐる

清津、羅新の三港視察のため九日午前九時四十分ハルビンを出發することとなつた頭に約十名）は特產出廻期を前にして、遠からず開通する〇〇線と密接關係にある雄基

九月四日の勞働祭

米國各市場休業

【東京五日發國通】九月四日は勞働祭に就き爲替市場は元よりアメリカ諸市場は全部休業する

齋藤首相と貴院側の會見

儀禮的で國策內容に觸れぬ ―貴院側の申合せ―

【東京五日發國通】齋藤首相は六日午後四時國策協定に關し貴院側の諒解を得可く首相官邸で正副議長以下各派交涉員四十九名と會見するが、貴院各派は之に先立ち各事務所に交涉委員總集し會見態度を打合せの筈である、各派の態度は今度の會見は儀禮的で實のある話はある筈が無い、從つて貴族院としては國策の內容經過に意見を述べる必要はなからう、此等のことは通常議會で行ふ可きだ、貴院としてはあく迄是々非々で行くが近衛議長が代表として首相の御趣旨はよく判つた程度位で散會となろうと見てゐるが公正會同成會から個人の資格で財政問題の質問が出るかも知れぬと謂はれてゐる

舊行號の債權にも強制執行有効

滿洲國で辦法制定

滿洲國では舊行號の債權執行は前辦法を制定することになつたが同法制定の理由は舊行號は建國以前には半公務機關であつたのでその有する債權に付ては擔保權の登記を爲さず、其の强制執行は通常裁判所の執行に依らず便宜行政の命令に依つて之を行つて來たのであるが、此の事例は既に永年の慣行と認り來つたものである、現在中央銀行の繼承せる此の種債權額は凡そ三十九百萬圓に達する狀態であるが右の强制執行は前記の如く單に行政機關の命令に依るに過ぎないので建國後は其の執行異議の訴訟を裁判所は其の執行、を無効とする判例があり、從つて現狀のまま推移することなく一定の條項に合するものは慣行に依る行政命令に基いて執行を有効と看做し、之に依つて生じて居る各般の權利關係を存續せしめ

＝機關＝

＝取引＝

の安定を圖らんとするにあつて之と同時に未登記の擔保權の如きは此の際一律に登記せしめやうと云ふのである舊行號とは東三省官銀號、

宋子文棉麥借欵の資本化に奔走

銀行に擔保とする意向

【東京五日發國通】宋子文の締結せる棉麥借欵の棉化に對し宋子文は之が資金化に就ては次の方法を執ることになつたと謂はれてゐる、既ち宋子文は歸國と同時に中央銀行及び上海銀行代表と懇談してゐたが大體右の着荷を一先づ銀行に擔保として銀行團から借欵し右現物は漸次銀行團をして賣捌かしめる方針である

北支政局動搖で

河北河南は不況のドン底

【天津四日發國通】北支政局動搖並びに一般經濟界の不況に伴ひ各地購買力は著しく減少し加ふるに北支を中心とする抗日風潮に依り河北河南は不況のドン底にあり本年上半期に於ける北支航路の當地に持つ積取總噸數は三社（大阪商船、大汽、日清）併せて六萬噸にも足らず昨年冬季の十一萬七千噸に較ぶれば四割九分の大激減といふ不況を示してゐる

ボンベイ日本人俱樂部主催で日、英、印懇親會開催

【ボンベイ四日發國通】去る八月末ロンドンを出發し目下渡印の途にある英國實業代表一行は來る十四日當地着の豫定であるが、これより一日遲れて我民間代表も到着するのでボンベイ日本俱樂部では今

ハルピンの商取引は近く全部國幣

【ハルビン五日發國通】從來ハルビンに於ける商取引は哈大洋、金票、米弗等の各種の貨幣により行はれて來たが今回ハルビンの露人商業會議所では露人の商取引を一齊に滿洲國々幣を以て行ふべくこれが實行方につき寄々協議中であるが、遠からず商取引は一齊に國幣建となるものと見られて居る

尙從來哈大洋票の相場激變により小賣商人は哈大洋の下落を見越して實際相場以上の値段で商品を販賣してゐたが國幣建となれば從來一元の商品は國幣八角で購入する事が出來ると言ふので市民も國幣建を切望して居る

北滿特別區の特別會計豫算

三百六十九萬餘圓

北滿特別區特別會計歲出入豫算は六日の總務院會議に上程さるることとなつた、內容左の如し

△歲入

經常部	三、六四九、八九九圓
臨時部	四三、〇〇〇圓

△歲出

臨常部	三、三三一、四九二圓
臨時部	三六一、四〇〇圓
合計各	三、六九二、八九二圓

ボンベイ紡績聯合會は英國代表を迎へて當地に英印間の協議會を開く目的で、過日全印度の紡績業者に代表を當地へ送る樣通告した

年は印度實業家も加へて盛大な懇親會を開き、一同の懇親を計ると共に私的折衝の機を作らうと努力してゐる、

滿鐵々道部

鐵道省から技術者三百名招聘

【大連五日發國通】滿鐵々道部の人員不足を補ふため今回鐵道省より技術系の者三百名を招聘するに決し鐵道部工務課長郡新一郎氏は之が詮衡のため五日午前十時出帆の「しやさる丸」で上京したが、左の如く語る

今回は全國鐵道局管內から優秀な者だけを招聘する積りで高級者は鐵道次官に推薦を依賴してあります、九月中に各種手續を濟ませ十月二十日頃には全部連れて來ることになりませう、大部分は工場に配置し一部分だけ運轉工務方面に廻す筈です

大學教授聯盟一行

五日夜新京到着

【奉天五日發國通】日滿經濟ブロツクに關する調査研究並びに教育、宗教及び社會制度視察のため來滿した全國大學教授聯盟會長松波仁一郎氏以下十二名は鞍山、遼方面の視察を終り三時十五分當地發「はと」で新京に向つた、一行は新京に二泊しハルビン方面に赴いた上十一日午後八時二十五分來奉、三泊して奉天各方面視察の豫定

璦琿から大黑河に縣公署移る

【チチハル四日發國通】從來大黑河は璦琿縣下の一部市であり乍ら一個局として恰も縣管轄外にあるが如く特別行政が布かれて居た所九月一日より特別市政公署を廢止し璦琿にある縣公署を大黑河に移し縣城所在地として縣知事に管轄される事になつた

奉天爆彈犯人は重罪に處せられん

軍法會議に送付さる

曩に檢擧された滿洲國擾亂の爆彈事件犯人中滿洲國軍隊に潛入し兵士の買收及び軍情探査に當つた原籍河北省安國縣城內當時吉林第二教導隊第三營第九連步兵一等兵歸坤崗（二三）は八月中旬奉天城內分隊の御隊に逮捕され、嚴重取調べた處罪狀明白となつたので去る一日一件書類と共に吉林警備司令部軍法處に送附されたが重罪に處せられる筈

明けゆく西部滿洲

いよいよ完成

さきに滿洲國から總務廳情報處龜谷事務官も出張して撮影した「明けゆく西部滿洲」八千呎は滿洲版日本版、ともに最近漸く完成しこのほど試寫を行つたところ却々の出來ばえであつた旨木戶松竹專務から通知があつた、なほ同フイルムは試寫後直ちに發送され近日新京著、直ちに試寫のうへ一般にも公開されるはずである

新京日報社二十五周年祝賀

大園遊會を催す

新京日報社は創刊二十五周年を迎へた記念に來る九月七日午後三時から西公園で大園遊會を催し官民有志、廣告主等を招待することとなり夫々案內狀が發せられた若し當日雨天の際は九日以後に順延すると

天氣と氣溫

五日の氣溫 最高二十八度二、最低十一度六、六日の天氣北西の風晴れ

各區とも思ひくに 秋祭りの催し
例年にない賑ひを豫想さる 馬力をかける三區

おひく近付いて來た新京神社秋祭り、去年までは時節柄お祭り騒ぎは差控へられたが今年は滿洲國の礎いよく堅く、國都の建設も著しい勢で進捗しその榮へある前途を大に祝福する意味で大に秋祭りを盛大にしやうとの申合せは着々と具體化してゐる模樣である、五日正午調べたところによると

第一區＝區長は下德直助氏、神社の方から神助金も出る、尙有志の寄附もあるので斷屋台を出したり子供神輿を出してうんと賑かにやるつもりです、料亭は千鳥が筆頭で新らしく出來た店もありカフエーバーなど相當頑へましたから相當賑はせるでせう云々

第二區＝區長瀨下金氏、仁記洋行に電話をしたが店員さんでわからず自宅に電話したが女中が取次に往復するばかりで要領を得ず頗る氣の無い模樣、いつも他區に負けないやうに賑かな催しをする第二區曙を始め新らしい料亭もだいぶ殖へたのにどうしたものか

第三區＝區長島名福十郞氏、相不變この區は勢がいゝ新京銀座を控へ料亭は八千代開花南海等々を抱擁してゐるだけにすばらしい十四日宵宮祭から獅子屋台六台は主として紅裙連が乘込み町内の人々は假裝變裝で押出す、これには一等二十圓から十五等まで懸賞で優秀なものを表彰する、十五日も同樣神社の神輿主もあるので十五日は一般の假裝變裝十人以上の團体の優秀なものに五十圓の懸賞がある

第四區＝區長田中卓二氏、この區は十四日の宵宮祭から獅子屋台一台と子供神輿三台を出し十五日はその他に假裝を募り一等十圓から五等まで懸賞である

第五區＝區長小澤禎三郞氏、不在でまだ判らないが昔とちがつて夥しくこの區は發展してゐるから昔のやうではあるまいと思はれる

第六區＝區長小松圓松、所謂鐵道北でこれまでは居住邦人も少なかつたが今は却々繁華になつたので何か催しがあるものと思はれるが小松氏不在でわから ず

鈴木顧問葬儀 參列者歸京

故鈴木關東軍顧問の葬儀參列の爲め東上中なりし鶴田參謀竹內囑託兩氏は、東京での葬儀四日終了し、今朝歸任したが、東京の遺族から新京市民によろしくとの傳言ありたる由、竹內氏は遺族代表として右傳達をなした

衛生思想の發達で
今年の傳染病激減

每年猖獗を極める夏期傳染病は本年は文化的施設、衛生設備の完備に連れ著るしくその數を減少してゐる、即ち六年度に於ては赤痢の百五十六名を筆頭に總計三百二十八名を數へ、次で事變後衛生秩序亂れ無統制下にあつた七年度に於ては新京を中心とする往來頻繁のため傳染病の移入率頗る多く、その死亡率はるかに六年度を越へた、處が本年に至つては秩序回復、文化流入するにつれ滿洲人間にも加速度的に衛生思想の發達を促し豫防注射等の徹底を見るに至り、曾頌傳染病者激減した外最も恐るべきコレラ患者は遂に發生を免れたのである、尙八年度腸チフス、疱瘡、猩紅熱が過去二年に比して相當多數に昇つてゐるのは衛生制度思想の低き奧地よりせる鮮人の發病者が增加せる結果である

	昭和六年	昭和七年	昭和八年現在
赤痢	一五六	二一七	一六六
腸チブス	二四	一九	四八
パラチブス	三三	二九	一三
發疹	一七	〇	二五
猩紅熱	七〇	七二	八二
ジフテリア	二七	三三	一三
流行性腦脊髓膜炎	一	一	二
コレラ	〇	三二	〇
計	三二八	五一四	三一六
內死亡	二三	九四	二三

熱河征戰の際
高橋伍長等の悲壯なエピソード

【大連四日發國通】熱河征戰に於ける戰歿勇士混成第〇〇〇團高橋伍長以下八名の遺骨は四日午前十時大連出帆の「ばいかる丸」で金谷曹長以下の戰友に護られ悲しい凱旋の途についた、遺骨勇士にまつはる壯烈極まりないエピソード

去る三月一日より四日間熱河省喇嘛洞に於て宮本〇隊が約二千の敵兵に包圍され宮本支隊行方不明と騷がれた、當時同〇隊は死力を盡して敵の包圍を破る爲連絡傳令を出すこととなつた自ら志願して此の重任を帶びた高橋伍長と下田上等兵は三月三日月明の夜に敵線突破を試みたが不幸敵に敵に捕へられ消息不明となつた以來軍では喇嘛洞を中心に附近を搜査中の所去る八月十三日混牛營子の河原に死体となつて橫たはつてゐるのを發見した、戰死後六ケ月間風雨にさらされてゐた爲死体は白骨と化し僅かに認識票によつてそれと知られるのみであつた

今回の八体の遺骨はこうした行方不明となつた勇士だけで傳令、斥候等に出て消息を絕つた勇士はこれで悉く發見された

兒玉大尉 赴任の途に就く

【大連四日發國通】昨年春鐵道〇〇隊附として來滿、匪賊の鐵道爆破に對する防護策に貢獻する所あつた工兵大尉兒玉永光氏は今回少佐に進級、四鐵道第〇〇隊附に榮轉、四日出帆の「ばいかる丸」で離滿赴任の途に就いたが語る

熱河討伐まで常に第一線にあつて非常な教訓を得た、最近まで〇〇線工事の方に居たが仕事を後任者に讓つて心おきなく歸る、色々御世話になりました、在滿各位によろしく

松田支隊が密山で 暫時治安維持

【ハルビン五日發國通】松田支隊は一日午後五時密山に到着したが、同隊は密山に據つて同地方の治安維持に當ることに決し、暫時兵を留めることになつた

旅館や料亭の未拂三千圓といふ男
しびれをきらした被害者から 新京署へ告訴狀の山

鹿兒島縣生れ土木建築業者寺田山助(三六)は本年四月東京より來京大澤組名義人として

＝市內＝　喜久屋、松屋等の旅館を轉々とし種々の建築業に携はつて居ながら一文の宿料も拂はず名義保證金額さへも拂はず遂に七月迄で大澤組と手を切り八月廿九日より市內永樂町京都旅館に止宿し一定の職業も無く無一文で料亭柳時雨、いくよ、千鳥等で多額の遊興をなし言葉巧に自分は大澤組の名義人であるからと詐稱して支拂を後日に延ばしなほも市內各所の建築材料店煉瓦商、電氣商等よりも同一手段で借り受け、幾度請求しても言を左右にして支拂はずその被害額實に三千餘圓の巨額に達してゐる、しびれを切らした各營業者は遂に新京署司法係に告訴狀を提出したが同人に對する告訴狀が七八通の多數に及び近來稀に見る詐欺師だと

＝當局＝　でもあきれてゐるなほ寺田は三日成松刑事の爲に本署へ連行留置され嚴重なる取調を受けてゐるが奉天に於ても此の手によつて相當の詐欺を働いてゐると

克東、寶泉兩驛 名改變

【チチハル四日發國通】拉克線克東驛は郭家驛に寶泉驛は克東驛に夫々九月一日附を以て改稱した

詐欺犯人の屆出を怠り科料に
泣き面に蜂の京都旅館

お詐欺犯人を止宿せしめてゐた永樂町京都旅館主菅治夕子さんは新京署に對して規定の屆出を怠つて居た爲保安係では直に申告の手續を取つたから六日十圓以下の科料に處せられるものとみられる

ハルビン 傷害件數統計

【ハルビン五日發國通】馬賊事件、戀愛、厭世自殺その他種々の傷害事件で八月中に市救護班の出動した回數は百六十七回に及んでゐるが、手當てを受けた者は滿人八十九名、露人六十一名その他十七名、自殺十七件、殺害十七件、急病五十六件、突發事件六十件その他十七件、入院せしめたもの九十名に及んでゐる

中銀軍に凱歌
滿洲國各部對抗軟式野球

八月二十七日以來引續き爭覇擧行中だつた滿洲國各部對抗軟式野球爭覇戰は四日午後一時半より滿洲中央銀行對民政部軍によつて熱戰の結果四A對〇で中銀軍に凱歌擧り橋口總務廳長より優勝杯を授與し無事終了した

(寫眞は優勝した中銀軍)

全滿に於ける昨今の匪賊狀況
＝關東軍幕僚談＝

全滿に於ける昨今の匪賊狀勢につき關東軍幕僚は次の如く語る

一般狀勢

滿洲國內匪賊の狀勢は昨年度の最盛期二十一萬に比し本年は約十萬內外の見込であることは政治的抗日反滿團體活動の減少と分散配置をされる軍隊の積極的討伐及び治安維持會の活動によるものであるが、而して昨年八月中に於ける皇軍の死傷者(將校以下)と本年同月に於ける比較左の如し

	戰死	負傷
昨年八月	四三	一一六
本年八月	二一	四六

各省細部の狀況

一、黑龍江省方面小匪賊所々に出沒するも省內一般に平穩なり

二、吉林省方面—本省は滿洲國中匪賊の出沒最も多く特に方正、賓縣、東寧、依江口地方の被害尠なからず、又本省中特に注意を要するは間島地方にして同地方は共匪の猖獗甚しく日滿軍の討伐を受くればこれを避けて巧に露領に遁入し機を見て出現す、共匪出沒回數昨年七月中は約四十回なりしも本年同月は約七十回に及べり、ソ聯邦の後援寸刻も油斷を許さず

三、奉天省方面—一般に平穩なり、但し三角地帶の討伐は既に約一ケ月に亘れるも尙實施中である、本地區は滿洲擾亂者の最も利用する地區にして七月中旬北平及上海より反滿分子上陸、續いて各種彈藥を陸揚し匪勢猖獗となつたもので、上陸せる不逞分子の中には蔣介石の委任狀を所持せる者を發見せり、本件に就ては日本外務官憲より南京政府に對し抗議を提出するに至れり、其他本省にては鴨綠江上流地區、臨江、長白兩縣等皇軍の威力及ばざる地方は匪勢盛んである

四、熱河省方面—本省內は槪ね平穩にして省西南部の主なる匪賊は湯玉麟に合流し殆ど省外に出でたり、唯凌源、朝陽、北票附近の匪賊僅かに積極的活動を爲してゐるに過ぎない

特殊警察隊官制改正內容
國境警察を整備充實さす 近く教令案を公布

滿洲國では特殊警察隊官制を改正すべく參議府に諮詢中で執政の裁可を經て來る七日教令第七十二號として公布の豫定である、改正の內容は左の通りである

特殊警察隊官制中改正の件

大同元年教令第三十二號特殊警察隊官制中左の通改正す

第三條　國境警察隊は管內の國境を警戒し不正入國並密輸出入の監視及取締に任す

第五條　海邊警察隊は管內の海邊を警戒し不正入國並密輸出入の監視、取締及水上の保安に任す

第七條　特殊警察隊を通して左の職員を置く

職名	人員	任
隊長	十人	薦任
警正	十四人	薦任
技正	二人	薦任
翻譯官	一人	薦任
警佐	四十八人	委任
譯官	十九人	委任
技士	二十四人	委任
巡官	百四十四人	委任

第七條の二　隊長は民政部總長の指揮監督を承け隊務を掌理し部下の官吏を指揮監督す其の財政部所管の事務に關しては財政部總長の指揮監督を受く

第八條　警正は上官の命を受け隊務を掌る

第八條の二　技正は上官の命を承け技術を掌る

第八條の三　翻譯官は上官の命を承け翻譯通譯の事務を掌る

第九條の二　譯官は上官の指揮を承け翻譯通譯に從事す

第十二條の二　民政部總長は必要と認むる地に特殊警察隊分隊を置くことを得

第十二條の三　特殊警察分隊に分隊長を置き警正を以て之に充つ

第十二條の四　分隊長は隊長の命を承け分隊の隊務を掌る

附　則

本令は公布の日より之を施行す

改正理由

從來營口には奉天省公署に屬する漁業商船保護局ありて漁業商船の保護、漁場の開拓、罐詰製造業、漁業資金の貸付漁稅徵收額等を行ひ居りたるものなり其の職員凡四〇三人にして大同元年度の收入一八九、七五二圓、支出二三六二三五三三圓なりしものとす右は

舊時代の遺物にして官制に依るものにあらず、依りて速かに新制に依る各部に分割所屬せしめ行政の系統を明確にするの要あり、右に付研究審議の結果漁業商船保護の事務はこれを民政部所管とし特殊警察隊官制に依る營口海邊警察隊に所屬せしめ殘りの事務の內漁稅徵收の事務は財政部所管とし稅捐局をして之を行はしめ漁場の開拓罐詰製造業等は姑く之を從前の通りとす、而して右漁業商船保護局の分解整理の結果營口海邊警察隊を擴張すると共に別に國境警察を整備せむが爲に黑河古北口、喜峰口に新に國境警戒隊を增設せむとす、其外に從來哈爾賓には

警察總隊なるものあり同地附近の遊動警察事務を掌理し居りたるか、右は官制に依らざるものにして且事務の性質か哈爾賓警戒廳に所屬せしむるに適せざるものなるを以て此の際特殊警察隊に編入し其の遊動警察隊となさむとす其の他以上に件ひ過去の經驗に依り若干修正を要する點あり、併せ改正を行はむとするものにして是れ本案を提出する所以なり

六大學野球 試合日程決定

【東京發】東京六大學野球聯盟秋の試合スケジュールは左の如く決定發表した

▲九月中
九日(土)法立、帝慶
十日(日)帝慶、法立
十六日(土)早法、帝立
十七日(日)帝立、早法
廿三日(祭)慶明、法帝
廿四日(日)法帝、慶明
三十日(土)早立、明帝

▲十月中
一日(日)明帝、早立
四日(水)明法
五日(木)明法
七日(土)帝立
八日(日)帝立
十日(火)早帝
十一日(水)早帝
十四日(土)早法
十五日(日)早法
十七日(祭)明立
十八日(水)明立
廿一日(土)早慶
廿二日(日)早慶
廿八日(土)慶法
廿九日(日)慶法

右試合は春期よりの成績を加算し勝敗率が同率となつた場合の決勝試合は明治神宮体育大會終了後即ち十一月三日以後に於て之を行ふ試合開始時間はダブルスゲームの場合は第一試合は正午開始、第二試合は第一試合終了三十分後に行ふ、十月に入りシングルゲームの場合は平日、日曜、祭日總て午後二時に行ふ

滿鮮對抗陸上競技會 メンバー

【大連四日發國通】滿鮮對抗陸上競技會滿洲側メンバーは滿洲陸上競技聯盟の詮衡を經て四日午前左の如く發表された

△百米　中村繁　光田五郞
花村(大連)八木弘(旅順)金福命(安東)
△二百米　井上勳　光田五郞(大連)八木弘　山縣(旅順)金福命(安東)
△四百米　井上勳　山本一男　松尾正喜(大連)金起賢(安東)山縣(旅順)
△八百米　濱田常盛　權泰夏　松尾正喜(大連)金起賢(安東)渡邊健治(奉天)
△千五百米　永谷壽一　大數寬一　濱田常盛　權泰夏(大連)渡邊健治(奉天)
△五千米　永谷壽一、八重樫榮太郞、權泰夏志水政市、(大連)渡邊健治(奉天)
△千米瑞典繼走　光田五郞　山本一男、井上勳(大連)米津午郞、(撫順)金起賢
△(安東)山縣、八木弘(旅順)
△走巾跳　最上義鋼(大連)翠央賢、籾田鋼(奉天)柴田義敏、米津午郞(撫順)
△走高跳　武內友章、奧川敏男、淸水克麿(大連)翠央賢高田(奉天)
△棒高跳　久恒應、太田(大連)日根野山軍三郞、伊藤淸八郞、西田(奉天)
△砲丸投　吉村、高木米吉(大連)衣川(旅順)川內(公主嶺)大越兵司(新京)
△圓盤投　米津午郞、(撫順)二宮恒夫、伊藤一男(大連)丸茂保之(奉天)衣川(旅順)
△槍投　出島操、峰尾彌久(大連)門田(安東)河村泰男(奉天)岡田勝義(撫順)

一萬五千圓拐帶犯人捕はる
犯人は被害者妻の實弟

昨四日市內朝日通り飛島組村松康平方に於て苦力に支拂ふための一萬五千餘圓在中の預金通帳が

＝何者＝かの爲めに盜み去られた事件について新京警察署に於ては昨夜來不眠の搜査を續ける一方犯人が何者なるかについて銳意探査の歩を進めてゐたが村松妻の實弟に當る本木秀雄(二三)が昨夜來歸宅せず更に日頃の素行等より推して右本木が最も有力な容疑者と睨んだ當局は直ちに本木の行方を搜査に掛つた結果五日午後四時半新京驛に於て右本木を發見直ちに逮捕した右は奉天に飛ぶべく奉天行の切符を所持して居り拐帶した現金一萬五千圓中二百五十六圓八錢を消費したのみで殘金は身につけて居り右は直ちに被害者村松氏の手に返還された、尙本人の犯行について取調べの

＝結果＝昨四日犯人本木自身が正隆銀行に「使のものをやるから一萬五千圓を渡してやつてくれ」と電話をかけ、自身正隆銀行へ赴いて通帳十二十圓を殘して全額一萬五千圓を受取り何喰はぬ顔で歸宅、現金は何れかに隱匿してあつたものでその夜何氣なく通帳を開いた村松氏は驚愕し直ちに犯人である本人に「直ぐ警察に行つて來い」と言ひつけたが、本人はそれではとその儘姿をくらまして了つたものであるがその

＝夜は＝三笠町朝鮮料理店金成館で一泊、五日午後四時半の列車で奉天に高飛すべく計畫してゐたものである

京都武專生三十五名 十月來連

【大連四日發國通】京都武專四年學生三十五名(內柔劍道科十八名)は滿鮮視察の爲め十月八日來連、全大連軍と柔劍道試合を擧行の豫定である

巖谷小波氏逝去

【東京五日發國通】我が童話文學の大家で全日本の兒童から親しまれて居た巖谷小波氏は直腸癌で先月二十日以來赤十字病院に入院加療中であつたが五日午前八時二十四分逝去した、享年六十四歲である

ちやほや

▲ミス西洋のヒトミ四日の午後六時半頃ロイド眼鏡のスマートな彼氏?と日本橋通の金華號支店であれでもない、此れでもないと嬉しそうな買物をして居た、何を買つてもらつたでせう?▲箱根の美給連五名は草木も眠るといふ五日午前一時半頃生白い常客に連れられて大和滿鐵食店チヤツプリンに來て居たが親のかたきにでも出會つた如く目を白黑させ親子丼に天ぷらそば、あれからこれと盛んにつめ込んで居た▲精養軒のギンコ、ロートルの女子はいよく八日出發歸國するそうだ、ファン諸君どうか見送つてやつて下さい

寄附

中央銀行員前川勝三郞氏は吉林轉勤に際し室町小學校父兄會へ金十圓寄附

吉凶禍福

△新京中央通二四渡邊綱氏三男憲三さん、三十日出生
△新京露月町二丁目三四宮地長藏氏長女?さん、二十三日出生

非常時を背負ひ起つ

公主嶺に生れた青年同志會

人類救濟の具誓として 一般でも期待

（公主嶺發）思想的に將た經濟的に世は擧げて焦燥混亂の渦中に喘ぎ極まる處を知らず之を整理し救濟し向上の一路に勇往邁進以て全人類終局の目的を達成するは一に吾人青年の双肩にかゝる責務なりとの自覺の下に在住公主嶺青年有志の間に議纏まり新に公主嶺青年同志會を結成し、之が發會式を二日午後七時より佛心寺に擧げた其宣言、綱領、會則は左の如くである、由來此種の結成は是迄數次其例あるも其名美にして其實は必ずしも之に伴はず龍頭蛇尾遂には空寂に終るを常として居たが折角生れた非常時之青年同志會をぜひ健全にもり立てたいと識者から要望されてゐる

公主嶺青年同志會宣言

今や世界は全人類を擧げて不幸の窮底に沈淪しつゝあり。焦燥と混亂とは人類の地上を蔽へり、あゝ生を此世に享けたる者の苦惱のみ世に充ちて生活の光明なく生命の歡喜なし。

人類進化の發展段階が國家の存立を必然したる—その國家すら其內部に於て之を蔑視し否定せんとする思想を生み、又其外部に於て國家民族の對立鬪爭激甚紛糾を極め人類は遂に光明の世界を求めつゝ暗黑に彷徨困迷せる現狀、誰か人類現世の不幸を悲まざるものぞ

あゝこの混沌、然りこの混沌を整理して人類の世界を光明に導く者誰ぞ果してこの重任に耐へ得べしとなすか

吾人は其主觀に於て生命の本眞を把握し、已むに已まれざる求道心より發して自ら其大任の負荷を光榮とし甌起するものなると共に、又其客觀に於て人類進化過程に於ける唯一の軌範的發展的存在たる皇國日本に嚴肅に賦課せられたる大使命たることの認識下に皇國青年當爲の責務として全身全靈の努力を捧げんと發願し誓盟し菩薩摩訶薩たらんとす

發願は所詮實踐なり、實踐は必ず目的の貫遂ならざるべからず聖願の實現を離れて自己陶醉の觀念に遊戲することを許さず、然り、然るが故にこそ吾人は未だ度らざるに一切の衆生を濟度せんとの菩提心を起し身自から正しく行ひ又正しく行ふを得べき社會たらしむること、天照らす眞理の下に、正義自由の民たらんことを期す、其の求むる所のものは單なる生命に非ず、實に「善き生命」の希求なり、玆に生命の歡喜と生活の充實とあり、皇道と謂ひ、國策と稱するもの悉くこの根底に立脚せざるべからず、徒らに輕跳亂舞して日本を呼び亞細亞を唱ふるも吾人現實の生活信念に基かざる者は總べて悲鳴と狂燥に似たり

見よ、現代無量の言論妄動の盛觀、轉變常なく、混沌は更に次の混沌を生み大勢の決趨奈邊に在りや、觀念と生活の一致なくして國家社會に對する言說を云爲する勿れ、人は單獨孤生のものに非ず、常に我と非我との關係に置かれ而かも欲求無限にして善惡二心を併有する人類が共存共榮の實を擧げんと欲すれば其公共的並びに利己的慾望を制定する正義不斷の行使を現前し不犯他の自由を確立することと即ち正義自由の民たるべき努力を措いて他になし、正義と自由とは「善き生命」の精魂なり

斯くして人類終局の目的を成滿すべく最も必要なるものが共存共榮的社會なるが故に人類は一面に於て各人の偏傾的慾望を防遏して其正義自由を維持するため必ず一個至强の權力を必要せり、この權力こそ實に國家なり、按ずるに人類と雖環球一萬哩、山あり、海あり、河あり、更に寒暑の別ある地球上に於て而も性情習俗等の差等を以て諸所に群棲せる自然的關係は、各部落的に此の權力を形作る運命を享受しあり、これ國家の一ならずして多なる所以、

然り而して人類の本眞と理想とに基きて生れたる所の權力國家は當然其處に群棲する人々の一切を基礎とし其有する正義、自由の心を以て建設せらるべきものなり

國家は最高の道德なりといひ倫理的制度なりといふも、又朕即ち國家なりといふも朕即ち我なることと一吾が心の正義自由の顯現なることに於て然り一如是、人類は其本眞と理想とによりて國家を必要とせり國家は其の成立の意味に於て人類の正義自由を確保するために個人の飽くなき利己的慾望を不犯他のために抑制し、理想への躍進を鞭韃して人類と共は進むべきものなり』正義自由のために人類を指導し鞭韃し擁護し抑制する劍なり、この正しき進步の究奧こそ「善き生命」の所在なれ

終に人類は自他本有の惡魔の慾望を不斷に抑制しつゝ國家に倚つて永遠に正義自由への戰なりといふべし

然り而して吾等の國家は實に日本なりとす

あゝ日本、そは我等の祖國、而して三千年の歷史が萬邦比なき誇りとして、人類進化の規範的發展的過程を示現せる姿即ち國體の尊嚴を持し東海の巖頭高く皇旗を翻へして全世界の驚嘆と嫉視と反感との中に立てり、祖國九千萬民生存權の確保と三千萬民衆の樂土建設と一體不二なるべき民族協和、共存共榮の具體的表現たる新滿洲國は人類進化の發展的示範として合作され、亞細亞聯盟成立の先驅として出現せる今日、國際正義確立の要道は炳として輝き出でたり

然れども全人類の將來をして光明あらしむべき眞正の聯邦は之を形成する國家の倫理的獨立なくしては不可能なり、而かもこが指導的地位に立ち盟主たるべきものは其國家の內容實質を充足して率先範を宇內に垂れざるべからず、夫自からの內崩內憂患を藏しつゝ大義を四海に布かんとして國際正義を强調するもそは悲しむべき結果を招來すべき空想のみ、

あゝ日本よ、歷史的必然性は新くも我祖國の重任を訴ふること果して內憂外患の並臻に惱める當代日本が此使命に値し得るや判決は實に悲痛なる否定を拒む能はず（未完）

入團應募者九百名を突破

正義團四平街支部 十五日頃に結團式を擧行

（四平街發）大滿洲國正義團四平街支部設置委員長郭福彭氏等は梨樹縣下一帶に亘り極力團員募集中の處既に九百名を突破するの狀態で其の基礎も確實なるを以て支部認可も決定、來る十五日頃盟主酒井紫藏氏來四の上盛んなる結團式を擧行する筈

民團代表懇談會議題

（四平街發）四平街時局後援會では來る六日午後一時から滿鐵俱樂部應接間に於て第十回關東軍主催民團代表定期懇談會開催に關する協議會を開くが議題は

一、各地に於ける滿洲國地方行政の現狀と之に對する各層の滿洲人の感想所見要求の件

二、失業救濟機關急設の件

三、自由移民補導機關設置の件

四、地方農村開發に關する件

五、日滿衛生連絡に關する件

諸警官から挨拶

（四平街發）四平街署から通遼一帶の護りに就いた野口、秋山、猪狩、垣內、鎌田、津田、鄭、潘、宋の諸警官は二日附で懇ろなる着任挨拶狀を寄せた

岐阜教育視察團

（四平街發）岐阜縣教育視察團近藤卯三郎外二十一名は二日午後五時二十分鄭家屯より來四當地視察後植半旅館一泊翌三日午前五時三十分發南行した

洮南水害地列車開通

（四平街發）洮昂線洮南東站北方六キロの無名橋を中心とする水害ケ所は既報の如く晝夜兼行應急工事を進められて居たが遂に完成、三日午前七時三十分洮南東站發（北行）第十九列車から開通した

鐵道愛護村設置漸く實現

きのふ待望の裡に

（四平街發）開原驛を中心とする沿線金溝子、平頂堡間の鐵道愛護村（鐵道兩側五キロ）設置の件は前回治安維持會によつて擡頭後急速度に進展決定をみたので、日滿關係要人並に關係村長六十余名出席、五日午前十時から開原驛樓上で設置式を擧け田中四平街憲兵分遣隊長、飯田開原守備隊長等の祝詞並に訓話があつて盛況裡に劃期的なる式を閉ぢた

國產サイクルカーを驅って東京から新京へ

（奉天四日發國通）國產サイクルカーの紹介、モーター智識の普及を圖るため八月二十一日東京を出發した岸氏は永井拓相命名の「日の出號」サイクルカーを携へ今朝六時奉天に到着、日滿關係各方面を歷訪挨拶をなしたが、岸氏は語る

八月廿一日午前九時愛車「日の出號」に乘り東京宮城前を出發し東海道を西下し途中豐橋、京都に一泊、廿四日は阪神間を走り同日正午神戶發のハルビン丸で出帆廿七日朝大連に到着しました、挨拶旁々見物の爲め三十日迄大連に過し三十日午前十時大連發北上し普蘭店迄走りましたが、それから道路が惡くて車が動かず田家から北方二粁の野原の中で愛車の中に一夜を明かし夜明を待つて瓦房店に走り道路が惡いので瓦房店から奉天迄は汽車で來ましたが、これから新京、ハルピン迄は何とかして走り度いと思つて居ます

事變記念に相撲 四平街軍來征

來る九月十八日の滿洲事變二周年を記念して新京体育聯盟では四平街軍を迎へて全新京軍との對抗相撲大會を盛大に開催することになつた、四平街軍の一行は大人十五名、少年二十五名で同日午前十時十五分着、午後一時から新京神社境內で行はれるはずである

美座式保健創始者 美座氏來京

美座式保健治療法創始者として知られる美座時中氏は菱刈軍司令官の招聘をうけて滿洲に於て美座式保健講習を行ふため四日來京、近く新京に於ても短期講習會を開催する筈である

鍋よし開店

三笠町中央麻雀俱樂部經營者神岡氏は今回同所に於て新京人渴望の食道樂を開業鍋よしの屋號を以つて鍋物專門にしつとりと落着いた清灑な座敷で愛嬌滾る沖居のサービスは必ず新京人を滿足さすであらう、主人はインテリ向の此道には全々の白紙であるが薄利多賣をモツトーに多數の宴會をも引受けるそうである

電氣時計の話

滿電　山本幸雄

一般に用ひられて居る、「ゼンマイ」時計では、一日、又は一週最も長いもので二週間捲きのものであるから、其の合せる期間が、短いために、此の誤差は目立たない然るに電池式の電氣時計では、一日廿四時間內の誤差は、少くとも、長いあいだには、其誤差が積算されて來るから非常に、目立つのであつて、此の点は、電池式電氣時計の欠点と云ふべきであらう

そこに行くと、同期電動機を用ひた同期型の電氣時計にては、其瞬間、瞬間に指す秒は多少の、相違はあるとしても分以上の數は絕体によく合ふのであつて幾年たつても、誤差は表はれて來ない

同期式電氣時計のよい點は又非常に大きな時計をつくるのに便利である、この大形電氣時計の例としては、東京、上野驛前の地下鐵ビルデイングの時計は大規模な點に於て、世界最大なばかりでなく同期電動機の廻轉を、直ちに時の、指示に轉換したもので此の種の時計としては他に類を見ないものである、此の大時計に關する二三の、數字を擧げて見ると、次の如くである

文字盤の徑	二〇、〇米
文字の徑	二、五米
秒針の全長	八、四米
秒針の重さ	三三〇瓩（八八貫）
分針の全長	七、六米
時針の全長	六、〇米
全体の重さ	五、〇八〇瓩
使用電動機	五馬力

滿電にて賣出し中の、電氣時計には、次の如きものがある

置時計	目ザマシ附／目ザマシ無　二種
掛時計文字盤の大きさ、	八吋
同	十二吋
同	十五吋
同	十六吋
同	廿四吋

因に、親時計は每日、正午、大連、關東廳、測候所より送つて來る標準時に合せて居るから此の、電氣時計を、使用すれば年中正確な時間を知ることが出來ることになる「時は金なり」人々の生活には、正確な時間が絕体に必要である（終り）

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	一三二	小鯛	七〇
鮪切	一一〇	カツオ	二〇〇
ユベ	一五〇	ブリ切	四〇〇
ヒラス	一三六	サハラ	二五〇
スヽキ	一一八	サバ	二三〇
ヒラメ	二〇〇	ボラ	二五〇
コノシロ	二〇〇	イワシ	二三〇
ウナギ	八〇〇	アブラメ	三二一
サヨリ	四〇〇	グチ	九
フカ	五〇	赤エイ	一〇
タコ	三〇	イセエビ	七二
車エビ	八六	コエビ	四五
カニ	一二	ハモ	七〇
シラオ	四二	アワビ	七五
カキ	三五	アサリ	一〇
シジミ	五	カマボコ	二三二
帆立貝	三五	ヤズ	二三三
マス	七二	シタ	二三一
アユ	一二〇		

續 黒船往來

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百三十九回　家老の惱み（一）

薩摩と長州が、土州を味方に引入れ、イゲレスの後援を得て、徳川幕府の倒壊を陰謀しているといふことは、けつして乾典醫の一手錯覺ではなく、いまやお膝下の公然の噂となつてゐた。

そして、やはり典醫の考へるとほり、これと對抗するに東北の親藩を糾合し、フランスをうしろだてとして、南方と花々しく一戰を試み謀藩を絶滅して徳川の萬歳を計らねばならぬ……といふのが、譜代の大小名の輿論だつた。ことに、江戸に徒食する旗本、あるひは泰平の夢にあいた失業浪人の群に、その考へを抱くものが多かつた。勿論、腰拔け老中の中にも、氣骨のあるものはその裏で、暗にそれら浪人の群の鼻息の荒さを目方にかけて機の熟するのを待つてゐたといふ噂が專ら……。

したがつて、それら徒食の旗本や失業浪人のうちでは、はやくも時勢をみて、徳川幕府の誠意にはお介意なしに、勝手に南北戰爭ときめて、東北の親藩へ主戰論を披れきしておもむくものが、ぼつぼつあつた。さる老中の意を奉じて單身フランス軍艦へ乘込んでゐるといふ乾典醫のあることを知らずわれこそは……と先驅者を氣取つて蝦夷松前まで遊説に出かける熱心家も、なかにはあつた。

蝦夷松前が、何故そのやうに人氣があつたかといふに、やはり地の利である。フランス東洋艦隊の根據地として、東北の諸大名と策動するには、實に都合のいゝ地である。江戸表では、たうてい人目に立つていかぬが、蝦夷地で大海軍を養成することは、すこぶる有意義だつた。ことに松前藩主——いま江戸城内閣假中の利け者として、薩長の謀臣たちの眼の瘤となつてゐる松前崇廣こそ、東北諸大名の盟主として南北戰爭北軍の總指揮と仰ぐに最適任者だとおもふたからである。

きつと、江戸表にゐる松前崇廣は、その意のあるところを、國家老たちに傳へ、萬一に備へてゐるにちがひないと信じられた。福山城館の洋式調練といひ、箱館濱における造船所の建設といひ、松前箱館の防備といひ、誰の眼にも、他日の戰爭に備へるものと觀察されるのは當然のことである。

そこで、單身乘込んでいつた血氣の旗本や、無性に腕の鳴る浪人者たちは、ひそかに、蝦夷地の防備をみて、ほくそ笑んだ。

——いよ〳〵戰爭だぞ！

三百年の泰平の、やむにやまれぬ反動だ。負けても勝つてもよいただ硝煙彈雨のあひだに、血を浴び、屍を踏んでみたい、といふ單なる激越な感情の爆發である。

だから、平和な蝦夷地松前箱館の港は、これらあぶれものゝ浪人や兇暴性を帶する旗本たちが入り込んだために、ちかごろ妙に殺氣立つてみえた。

血氣猪勇の旗本たちは、箱館奉行や、松前なる福山館を訪れ、暗に南北戰爭をほのめかし、主戰論を説き、失業浪人の輩はまた砲臺築造人足に雇はれ、濱田屋、藤野なぞの漁場に身を沈めて、秘かに時節の到來を待ちのぞんでをつた。

江戸表の安穩に比して、蝦夷地では、すでに風雲の急なるを切實に人々に感ぜしめた。